



## 2024年12月期 第1四半期決算短信(日本基準)(連結)

2024年5月15日

上場会社名 株式会社 大日光・エンジニアリング

上場取引所 東

コード番号 6635 URL <http://www.dne.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長執行役員COO (氏名) 山口 琢也

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 経営企画室長 (氏名) 渡辺 武典

TEL 0288-26-3930

四半期報告書提出予定日 2024年5月15日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2024年12月期第1四半期の連結業績(2024年1月1日~2024年3月31日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年12月期第1四半期	9,608	7.5	207	73.8	207	82.5	129	79.6
2023年12月期第1四半期	8,933	2.6	119	2.7	113	39.3	72	42.8

(注) 包括利益 2024年12月期第1四半期 498百万円 (332.6%) 2023年12月期第1四半期 115百万円 (69.5%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年12月期第1四半期	19.23	19.19
2023年12月期第1四半期	10.76	10.67

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2024年12月期第1四半期	30,190	7,437	21.2	948.48
2023年12月期	29,197	6,937	20.4	883.23

(参考) 自己資本 2024年12月期第1四半期 6,405百万円 2023年12月期 5,964百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
2023年12月期	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年12月期		6.00		6.00	12.00
2024年12月期(予想)		6.00		6.00	12.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2024年12月期の連結業績予想(2024年1月1日~2024年12月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	18,500	0.3	210	20.5	205	2.5	125		18.51
通期	40,000	2.0	610	4.5	595		360	3.0	53.31

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

#### 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無  
以外の会計方針の変更 : 無  
会計上の見積りの変更 : 無  
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2024年12月期1Q	6,800,600 株	2023年12月期	6,800,600 株
期末自己株式数	2024年12月期1Q	47,483 株	2023年12月期	47,883 株
期中平均株式数(四半期累計)	2024年12月期1Q	6,752,981 株	2023年12月期1Q	6,719,278 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

#### 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご参照ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(会計方針の変更)	8
(追加情報)	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### （1）経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間における当社を取り巻く経営環境を振り返りますと、日本では企業業績は堅調であったものの、実質賃金の前年比マイナスが続いていること等を背景に消費が伸び悩み景気は足踏み状態が続きました。一方で、物価と賃金の継続的な上昇が確認されたこと、そして年明けから急速に円安が進んだこと等により、日銀はマイナス金利の解除を決定しました。米国では、良好な雇用環境から個人消費が伸びたこと等により、景気は堅調に推移しました。また中国では、春節需要により経済は一時的に持ち直したものの、高い失業率を背景に節約志向が強まったこと等により景気は停滞が続きました。

尚、半導体不足については総じて解消が見られたものの、一部の部材では調達困難な状況が続きました。

このような経営環境下、当第1四半期連結累計期間における経営成績は下記のとおりとなりました。

日本では、車載機器向けは、九州工場において受注先の生産調整があったものの、加工事業子会社において北米向け新機種部品売上が堅調に推移したこと等により増収となりました。オフィス機器向けは、受注先の昨年年初における生産調整の反動等により増収となりました。産業機器向けは、露光装置関連の受注が低調であったこと等により減収となりました。医療機器向けは、検査装置用ユニットが堅調に推移し増収となりました。また、その他のセグメントに含まれる主な売上げについては次のとおりです。社会生活機器向けは、住宅資材高騰による住宅着工件数の落ち込みを受け、住宅設備向け受注が減少したこと等により減収となりました。遊技機器向けは、従来の機種に代わる次世代遊技機器向け受注が伸び悩んだこと等により減収となりました。また、基板製造子会社及び業務請負・人材派遣子会社は、主に遊技機器向けの受注が減少したこと等により減収となりました。一方で、オフィスビジネス機器販売子会社の売上は横這いでした。以上より、日本の売上高は4,009百万円（前年同期比6.2%減）となりました。

アジアでは、車載機器向けが増収となりました。これは、無錫子会社は受注先の在庫調整の影響が一部顕在化したこと等により減収となった一方、無錫栄志電子有限公司は中国国外への売上が堅調に推移したこと、また、タイ子会社は昨年年初に大口受注先の生産調整があった反動により増収となった他、ベトナム子会社において新機種の量産品生産がスタートしたこと等によるものです。オフィス機器向けは、4月26日付「中国惠州連結孫会社における生産終了及び生産終了に伴う特別損失計上に関するお知らせ」のとおり、惠州孫会社が生産終了に向け受注を抑制したこと等により減収となりました。産業機器向けは、主に無錫子会社において、日本の交通インフラ向け受注が増加したこと等により増収となりました。また、医療機器向けについては、昨年秋、ベトナム子会社で量産を開始した医療機器向けユニットが堅調に推移し増収となりました。この結果、アジアの売上高は5,526百万円（前年同期比18.9%増）となりました。

以上の結果、連結売上高は9,608百万円（前年同期比7.5%増）となりました。

営業利益は、日本では親会社及び基板製造子会社が減収により減益となり、オフィスビジネス機器販売子会社は売上製品構成の変化等により減益となった一方、加工事業子会社は高付加価値製品を中心に売上が伸びたこと等により増益となりました。またアジアでは、香港子会社がグループ外への部品売上が伸び増益となった他、無錫子会社、無錫栄志電子有限公司、タイ子会社、ベトナム子会社共に増収により増益となりました。以上より、連結営業利益は207百万円（前年同期比73.8%増）となりました。

経常利益は、海外での受取利息、国内での受取配当金、国内外における消耗品等売却益が増益要因となった一方、金利上昇に伴う支払利息の増加及び持分法による投資損失が減益要因となり、連結経常利益は207百万円（前年同期比82.5%増）となりました。

上記に加えて、中国惠州孫会社の生産終了に伴う早期退職費用引当金繰入額、事業整理損等の特別損失、また、法人税等及び非支配株主に帰属する四半期純利益を差し引いた結果、親会社株主に帰属する四半期純利益は129百万円（前年同期比79.6%増）となりました。

### （2）財政状態の分析

当第1四半期連結会計期間末における総資産は30,190百万円（前連結会計年度末比993百万円増）となりました。

流動資産は、現金及び預金が減少した一方、受取手形及び売掛金、電子記録債権等が増加したことにより24,085百万円（前連結会計年度末比844百万円増）となりました。

固定資産は、投資有価証券、土地が増加したこと等により6,105百万円（前連結会計年度末比149百万円増）となりました。

当第1四半期連結会計期間末における負債合計は、22,753百万円（前連結会計年度末比493百万円増）となりました。

流動負債は、短期借入金が増加した一方、支払手形及び買掛金、電子記録債務、1年内返済予定の長期借入金等が減少したことにより17,034百万円（前連結会計年度末比51百万円減）となりました。

固定負債は、長期借入金が増加したこと等により5,718百万円（前連結会計年度末比545百万円増）となりました。

当第1四半期連結会計期間末における純資産合計は、その他有価証券評価差額金、為替換算調整勘定が増加したこと等により7,437百万円（前連結会計年度末比500百万円増）となりました。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2024年12月期の業績予想につきましては、2024年2月14日に公表いたしました「2023年12月期決算短信（連結）」の業績予想から変更ありません。

なお、実際の業績等は、今後様々な要因によって予測数値と異なる可能性があります。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2024年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	3,523,972	3,328,405
受取手形及び売掛金	7,525,478	7,854,223
電子記録債権	2,439,702	3,073,862
商品及び製品	1,204,434	1,228,597
仕掛品	422,838	353,599
原材料及び貯蔵品	7,390,899	7,357,718
その他	740,953	896,854
貸倒引当金	△7,298	△7,731
流動資産合計	23,240,982	24,085,531
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	5,643,618	5,750,386
減価償却累計額	△4,063,419	△4,202,573
建物及び構築物（純額）	1,580,199	1,547,812
機械装置及び運搬具	4,841,020	4,902,049
減価償却累計額	△3,057,460	△3,146,056
機械装置及び運搬具（純額）	1,783,560	1,755,993
土地	593,968	620,468
建設仮勘定	15,544	21,610
その他	1,061,930	1,166,396
減価償却累計額	△795,591	△817,656
その他（純額）	266,338	348,739
有形固定資産合計	4,239,612	4,294,625
無形固定資産	471,056	469,748
投資その他の資産		
投資有価証券	781,233	899,197
保険積立金	137,427	138,153
繰延税金資産	108,724	86,177
その他	217,999	217,426
投資その他の資産合計	1,245,385	1,340,954
固定資産合計	5,956,053	6,105,328
資産合計	29,197,036	30,190,859

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2024年3月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	5,839,407	5,783,057
電子記録債務	2,043,395	1,851,562
短期借入金	5,438,195	5,708,178
1年内返済予定の長期借入金	2,370,479	2,256,169
リース債務	60,284	60,986
未払法人税等	72,892	61,939
賞与引当金	—	80,018
早期退職費用引当金	11,687	37,003
その他	1,249,872	1,195,870
流動負債合計	17,086,214	17,034,786
固定負債		
長期借入金	4,756,169	5,311,820
リース債務	101,055	87,953
繰延税金負債	94,103	92,522
退職給付に係る負債	209,367	213,096
その他	12,856	13,320
固定負債合計	5,173,552	5,718,712
負債合計	22,259,767	22,753,499
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	1,174,681	1,174,681
資本剰余金	908,879	908,854
利益剰余金	2,127,705	2,217,073
自己株式	△17,910	△17,761
株主資本合計	4,193,356	4,282,848
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	108,671	185,048
繰延ヘッジ損益	△7,052	△1,170
為替換算調整勘定	1,669,248	1,938,458
その他の包括利益累計額合計	1,770,867	2,122,336
新株予約権	4,936	4,812
非支配株主持分	968,108	1,027,362
純資産合計	6,937,268	7,437,360
負債純資産合計	29,197,036	30,190,859

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年3月31日)
売上高	8,933,713	9,608,033
売上原価	8,058,103	8,550,497
売上総利益	875,610	1,057,535
販売費及び一般管理費	756,042	849,702
営業利益	119,567	207,833
営業外収益		
受取利息	10,142	5,583
受取配当金	5,567	6,514
為替差益	2,922	—
消耗品等売却益	8,435	13,120
補助金収入	29	1,073
受取保険料	18,765	548
その他	10,948	23,514
営業外収益合計	56,810	50,355
営業外費用		
支払利息	41,773	43,450
為替差損	—	4,006
持分法による投資損失	19,670	2,340
その他	1,153	791
営業外費用合計	62,597	50,589
経常利益	113,781	207,599
特別利益		
固定資産売却益	66	48
新株予約権戻入益	4,764	—
特別利益合計	4,830	48
特別損失		
固定資産除却損	0	4,049
早期退職費用引当金繰入額	—	24,176
事業整理損	—	8,552
特別損失合計	0	36,778
税金等調整前四半期純利益	118,611	170,868
法人税等	57,836	23,941
四半期純利益	60,775	146,927
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△11,535	17,042
親会社株主に帰属する四半期純利益	72,311	129,884

(四半期連結包括利益計算書)  
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年3月31日)
四半期純利益	60,775	146,927
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	12,189	76,377
繰延ヘッジ損益	△3,926	5,881
為替換算調整勘定	45,271	269,100
持分法適用会社に対する持分相当額	891	109
その他の包括利益合計	54,425	351,468
四半期包括利益	115,201	498,395
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	117,932	439,141
非支配株主に係る四半期包括利益	△2,731	59,254

（3）四半期連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（会計方針の変更）

該当事項はありません。

（追加情報）

該当事項はありません。